

感動そして感涙の義務教育最後の授業が迫る！

春の日差しがまぶしく、暖かい日が続いています。本日、明日の第38回卒業証書授与式のための予行が実施されました。今年度の卒業式本番については、会場に参列できるのは、卒業生と保護者2名、来賓1名、在校生の代表として1、2年生の生徒会本部役員、そして先生方だけとなります。甲斐市教育委員会の方針で、参加される方々には、簡易抗原検査にご協力をいただきます。検査結果票の提出にもご協力をいただきます。よろしくお願いいたします。

このような状況なので、1、2年生については卒業証書授与式には参列することができません。(代表として生徒会本部役員だけ参列します)そこで、本日の卒業式の予行練習の時の3年生の様子を1、2年生には見てもらい、また少しの時間ですが、全校でお別れ会ができればと計画を以前からしていました。1年生、2年生それぞれから心を込めた学年合唱を3年生に贈り、エールを贈る計画でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大のために、学校生活や授業にも厳しい制限があり合唱の練習すらできず、ここまで時間が過ぎてしまいました。そこで、生徒会本部役員と先生方にも相談し、1、2年生と先生方とで卒業する3年生に、これまでの3年生への感謝の気持ちと、これから歩むそれぞれの道で頑張ってもらいたいという気持ちを含めて手作りのマリーゴールドのコサージュづくりに取り組みました。マリーゴールドの花言葉は『逆境を乗り越えて生きる』、コロナ禍という逆境のなかで頑張ってきた卒業生のみなさんは、これからの人生のなかで、困難や逆境にぶつかることもあると思いますが、そんなときにもたくましく乗り越えていってほしいという願いを含めてつくりました。限られた時間の中で、コサージュの作成に真剣に向き合う1、2年生と先生方の姿に、この玉幡中の素晴らしさを感じ、明日はこのマリーゴールドのコサージュを胸に、3年生には新たな旅立ちの時を迎えてほしいと思います。本日、予行練習の後のお別れの会のなかで、在校生の代表から3年生の代表にコサージュの進呈がありました。



日常の長い人生の中には、様々な節目があります。そのなかでも義務教育9年間を修了する15歳という年齢は、大きな人生の節目であると言われる。だからこそ、中学校の行事の中では、義務教育最後の授業である『卒業式』が最も重要な行事であると言えます。この大切な節目を飾るにふさわしい式典としてほしいと思います。そして、このような場面で必要なことは「行動の美しさ」です。「立ち居振る舞い」を意識することが大切になります。正しい立ち姿、そして立礼。これらは言葉を使わない非言語コミュニケーションの典型です。卒業生のみなさんには言葉や、姿や立礼の中に、感謝や尊敬の念、その他言葉に言い尽くせない真心を含めてほしいと思います。卒業生は、人生の節目の瞬間を、姿勢、所作、返事そして呼びかけ(言葉)に想いを込めます。今日の予行練習では、その卒業生の姿と向き合った在校生にとっても、大切な機会となったことでしょう。今日の予行練習も明日の本番と同じように厳粛な空気が流れる中での見事な式典となりました。



玉幡中の達人に学ぶ②

玉幡中学校にはたくさんの達人がいます。生徒会本部役員の生徒のみなさんも達人だと思います。学校のために、みんなのためにと、自分の時間を割いて、様々な活動を行ってきてくれました。生徒会本部役員のみなさんの献身的な言動が、今年度の玉幡中の生徒会活動を推進させてくれました。コロナに翻弄された一年間でしたが、そんななかでも、全校生徒のためにと努力を重ねてくれました。そんな生徒会本部役員にインタビューをしてみました。

① 一年間生徒会本部役員をやってきて、今どんなことを思っていますか。

とてもやりがいがあり、やってよかったと思っています。2年生一人ということで最初はとても緊張していましたが、優しい先輩方のおかげでとても楽しい活動になりました。(2年2組 大沼優希さん)

生徒会役員として活動したことで、自分の良いところを伸ばすことができたと思います。またこの生徒会役員のメンバーで活動できてとても良かったです。今までともに活動してくれてありがとうございました。(3年3組 廣瀬祥人さん)

達成感でいっぱいですが、コロナの影響で、思い通りに活動を行うことができず、悔しいという気持ちもあります。でもそんななか、全校生徒のみなさんから「楽しかった」「すごい」などとたくさんの言葉をもらって本当にうれしかったです。(3年2組 福島叶望さん)

② 個人的に成長したなと思うことがあったら教えてください。

責任感を強く持つようになりました。生徒会役員になり、自分がやらなければいけないこと、やらないと活動が成り立たないことが多くなり、自分自身の“責任”を強く感じるようになりました。(3年1組 三神瑠衣さん)

人の上に立って活動を行ってきたため、責任感を持つことができたと思っています。今では人の上に立たなくても何事にも責任をもてるようになったと思います。(3年2組 大勝巧貴さん)

③ これからの生徒会役員や1、2年生に話したい想いやメッセージがありますか。

新生徒会役員のみなさんなら、この玉幡中をさらに盛り上げ、素晴らしい学校にしてくれると信じています。最後に心残りがあります。先輩方から受け継がれてきた「大地讃頌」が私たちの代で途絶えてしまうことです。いつかまた合唱が歌えるようになったら、全校合唱「大地讃頌」を復活させてほしいです。(3年3組 勝村和奏さん)

これからもたくさんの困難にぶつかると思います。そんなときには生徒会役員全員で協力して頑張ってください。伝統を守りつつ、さらに素晴らしい玉幡中学校をつくってほしいです。今まで、私たちについてきてくださり、本当にありがとうございました。(3年2組 白川想乃美さん)

来年度もコロナの影響があるかも知れませんが、一人一人にできることを積み重ねていくことが大切だと思います。玉幡中の伝統である“あいさつ”や“日本一の下駄箱”を継承し続けてほしいです。(3年1組 岡村歩さん)

学校のため、全校生徒のために頑張ってきたからこそ、このような素晴らしい、深い言葉がでてくるのだと、私自身学ばせてもらいました。

令和3年度 生徒会本部役員

会長 岡村 歩 (3年1組)

副会長 廣瀬 祥人 (3年3組)・三神 瑠衣 (3年1組)
大沼 優希 (2年2組)

事務局長 福島 叶望 (3年2組)

書記 勝村 和奏 (3年3組)

議長 大勝 巧貴 (3年2組)・白川想乃美 (3年2組)

